

文化財修復に向けた森づくり 平泉古事の森育成事業

文化財の修復作業に使う木材の確保や森林保全に取り組む「平泉古事の森育成事業」(平泉古事の森育成協議会主催)が10月5日、奥州市衣川区の月山国有林で開催されました。

同事業には平泉小4年生と長島小5年生、奥州市の衣川、衣里の各小学校4年生、関係者ら約130人が参加しました。児童たちは丸太をヒバの木の周りに敷き詰めて雑草をおさえる作業を実施。ノコギリでの輪切り作業に苦戦していましたが、木の成長を願い一生懸命取り組んでいました。



特別養護老人ホーム建設着手 旧長部小学校跡地で起工式

特別養護老人ホーム「いこいの場」の起工式が、9月28日に建設予定地である長島字竜ヶ坂地内の旧長部小学校跡地で行われました。起工式には、社会福祉法人寿憩会(岩渕吉郎理事長)や町、設計・施行関係者ら約30人が出席し、工事の安全と早期完成を願いました。

2017年3月の事業開始を目指しており、施設では要介護3以上の一関市と平泉町の住民が入居対象の小規模特別養護老人ホームと短期入所生活介護の両事業を展開します。



災害時の連携強化を図る 県消防協会一関地区支部消防連合演習

10月16日、平泉町内において県消防協会一関地区支部消防連合演習が行われ、一関、平泉両市町消防団をはじめ関係者約700人が参加しました。訓練は震度6強の地震により建物が倒壊し、地震に起因する火災が町内で相次いで発生したとの想定。火災防御や初期消火、倒壊家屋に閉じ込められた要救助者をエンジンカッターなどを使って救出し、応急救護所に運搬、応急手当を施すなど、大規模災害に備えた実践的な訓練が繰り返されました。

平泉中が法務大臣感謝状を授受 社会を明るくする運動

法務省主催の「社会を明るくする運動」強化月間に合わせて、1988年からおよそ30年間にわたり標語募集コンテストを続けてきた長年の功績が認められ、10月19日、平泉中学校が法務大臣から感謝状を贈呈されました。

同運動町推進委員会では、毎年平泉中学校の全校生徒を対象に標語を募集し、生徒数を上回るたくさんの応募標語の中から入賞者24人を表彰のうえ、最優秀賞に選ばれた3作品の標語を印刷して全戸に配布しています。



世界農業遺産認定を目指す 県、一関市、奥州市、平泉町で推進協議会を設立

9月29日、一関、奥州、平泉の2市1町にまたがる東稲山麓地域の営農システムの世界農業遺産認定を目指す「東稲山麓地域世界農業遺産認定推進協議会」が発足し、平泉町役場で設立総会が開催されました。総会では平成31年度の世界農業遺産認定を目指して、県と2市1町の関係団体が連携を図って進めていくことを確認しました。

同協議会の本年度の取り組みとしては、地域説明会やシンポジウムの開催などを予定しています。

大勢の来場者でにぎわう 中尊寺通りホコ天まつり

「中尊寺通りホコ天まつり」(平泉商工会主催)が10月2日、中尊寺通りを会場に開催されました。このイベントはJR平泉駅前から高館踏切前まで約100m区間を歩行者天国にし、整備が進められている中尊寺通りを町民や観光客が訪れる魅力ある商店街とするために企画されました。

通り沿いの商店やテントの出店が並んだほか、路上ではスコープ三味線などのパフォーマンスが行われ、会場は詰め掛けた大勢の来場者でにぎわいました。



実りの秋を体験 ライス・アート in ひらいずみ稲刈り体験

第8回ライス・アート in ひらいずみの稲刈り体験(農事組合法人アグリ平泉主催)が10月22日、長島地区の大区画ほ場で開催されました。秋晴れの空の下、町民ら約150人が参加。4種類の有色米を使って描かれた「義経と秀衡の出会いの場」「おもっち」の図柄と、「平泉世界遺産5周年」の文字を刈り取りました。作業後には、おにぎりとお芋の子汁の振る舞いと、一関市の行山流舞川鹿子躍の演舞が披露され、参加者は和やかな秋のひとときを過ごしました。



二葉きらり園で人権交流会 心温まる話に聞き入る園児たち

10月5日、二葉きらり園で3・4・5歳児の在園児約110人を対象に人権交流会を開催。人権擁護委員による大型紙芝居「ももちゃんのはんぶんこ」が読まれ、その心温まる話に、園児たちは引き込まれるように聞き入っていました。

その後、人権まもるくん、あゆみちゃんのマスコットが配られると、園児たちはハイタッチをしたり、抱っこされたりとすっかり委員と仲良くなり、次の日にはマスコットを通園カバンにつけて登園する園児たちの姿が見られました。